



## SNMP V3 の設定

---

この章では、ネットワーク管理システムで Cisco Unified CallManager をモニタできるように SNMP v3 を設定する方法について説明します。この章は、次の項で構成されています。

- [SNMP ユーザの検索 \(P.16-2\)](#)
- [SNMP ユーザの設定 \(P.16-3\)](#)
- [SNMP ユーザの設定値 \(P.16-4\)](#)
- [SNMP ユーザの削除 \(P.16-6\)](#)
- [通知先の検索 \(P.16-7\)](#)
- [SNMP V3 の通知先の設定 \(P.16-8\)](#)
- [SNMP V3 の通知先の設定値 \(P.16-9\)](#)
- [関連項目 \(P.16-10\)](#)



### ヒント

SNMP v1 または v2c を使用する場合は、P.15-1 の「[SNMP V1/V2c の設定](#)」を参照してください。

## SNMP ユーザの検索



### ヒント

[Add New] ボタンは、[Find] ボタンをクリックするまで [SNMP User Configuration] ウィンドウに表示されません。ユーザが存在しない場合、ユーザを追加するには、[Find] ボタンをクリックして、ウィンドウが更新されるのを待ちます。[Add New] ボタンが表示されます。

SNMP ユーザを検索するには、次の手順を実行します。

### 手順

**ステップ 1** [Snm] > [V3] > [User] の順に選択します。

[SNMP User Configuration] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** [Find User where Name] リストボックスから、ユーザの検索に使用する特定の検索条件 ([begin with] など) を選択します。

**ステップ 3** 検索するユーザ名を入力します。

**ステップ 4** [Server] ドロップダウンリストボックスから、ユーザにアクセスするサーバのホスト名または IP アドレスを選択します。

**ステップ 5** [Find] をクリックします。

[Find] ボタンをクリックすると、[Add New] ボタンが表示されます。検索結果が表示された後、[Apply to All Nodes] チェックボックスが表示されます。



### ヒント

[Apply to All Nodes] チェックボックスは、Cisco Unified Communications Manager Business Edition システムには適用されません。

**ステップ 6** 検索結果のオプションの 1 つから、クラスタ内のすべてのノードに設定を適用する場合は、オプション名の横にあるチェックボックスをオンにしてから、[Apply to All Nodes] チェックボックスをオンにします。

**ステップ 7** 検索結果のリストから、表示するユーザをクリックします。

**ステップ 8** ユーザの追加方法または更新方法については、[P.16-3](#) の「SNMP ユーザの設定」を参照してください。

### 追加情報

[P.16-10](#) の「関連項目」を参照してください。

## SNMP ユーザの設定

SNMP のユーザを設定するには、次の手順を実行します。

### 手順

**ステップ 1** P.16-7 の「通知先の検索」の手順を実行します。

**ステップ 2** 次のいずれかの操作を実行します。

- 新しい SNMP ユーザを追加する場合は、[SNMP User Configuration Find/List] ウィンドウで [Add New] ボタンをクリックし、[ステップ 3](#) に進みます。
- 既存のユーザを変更する場合は、[P.16-7](#) の「通知先の検索」の説明に従ってユーザを見つけ、編集する SNMP ユーザ名をクリックしてから、[ステップ 3](#) に進みます。
- SNMP ユーザを削除する方法については、[P.16-6](#) の「SNMP ユーザの削除」を参照してください。

**ステップ 3** [表 16-1](#) の説明に従って、設定値を入力します。



#### ヒント

いつでも [Clear All] ボタンをクリックして、すべての設定値に入力したすべての情報を削除できます。

**ステップ 4** [Insert] をクリックして新しいユーザを追加するか、[Save] をクリックして既存のユーザへの変更を保存します。

**ステップ 5** SNMP マスター エージェントを再起動するまで変更が有効にならないことを示すメッセージが表示されます。SNMP マスター エージェントを再起動せずに設定を続行するには、[Cancel] をクリックします。SNMP マスター エージェントサービスを再起動するには、[OK] をクリックします。



#### ヒント

SNMP 設定が終了するのを待ってから、SNMP マスター エージェントサービスを再起動することをお勧めします。サービスを再起動する方法については、[P.2-1](#) の「サービスの管理」を参照してください。



#### (注)

設定したユーザを使用してこの Cisco Unified CallManager サーバにアクセスするには、このユーザを、NMS 上で適切な認証とプライバシーの設定値で設定したことを確認します。

### 追加情報

[P.16-10](#) の「関連項目」を参照してください。

## SNMP ユーザの設定値

表 16-1 に、V3 の SNMP ユーザの設定値を示します。関連する手順については、P.16-10 の「関連項目」を参照してください。

表 16-1 V3 の SNMP ユーザの設定値



フィールド	説明
Server	<p>P.16-7 の「通知先の検索」の手順を実行したときにサーバを指定したので、この設定値は、読み取り専用として表示されます。</p> <p>アクセス権を与える対象となるサーバを変更するには、P.16-2 の「SNMP ユーザの検索」の手順を実行します。</p>
User Name	<p>このフィールドに、アクセス権を与える対象となるユーザの名前を入力します。名前には、英数字、ハイフン (-)、アンダースコア (_) の任意の組み合わせで、最大 32 文字を指定できます。</p> <p> <b>ヒント</b> ネットワーク管理システム (NMS) に対してすでに設定されているユーザを入力します。</p> <p>既存の SNMP ユーザの場合、この設定値は読み取り専用として表示されます。</p>
Authentication Required	<p>認証を要求する場合は、このチェックボックスをオンにして、[Password] フィールドと [Reenter Password] フィールドにパスワードを入力し、適切なプロトコルを選択します。パスワードは、8 文字以上にする必要があります。</p>
Privacy Required	<p>[Authentication Required] チェックボックスをオンにした場合は、プライバシー情報を指定できます。プライバシーを要求する場合は、このチェックボックスをオンにして、[Password] フィールドと [Reenter Password] フィールドにパスワードを入力し、適切なプロトコルのチェックボックスをオンにします。パスワードは、8 文字以上にする必要があります。</p> <p> <b>ヒント</b> [Privacy Required] チェックボックスをオンにすると、[DES (Data Encryption Standard)] チェックボックスも自動的にオンになります。DES プロトコルを使用すると、パケットが解読されるのを防止できます。</p>
Accept SNMP Packets from any host	<p>すべてのホストから SNMP パケットを受け入れる場合は、このオプション ボタンをクリックします。</p>
Accept SNMP Packets only from these hosts	<p>特定のホストから SNMP パケットを受け入れる場合は、このオプション ボタンをクリックします。[Host IP Address] フィールドに、SNMP パケットの送信元のホストを入力し、[Insert] をクリックします。SNMP パケットの送信元のホストごとに、このプロセスを繰り返します。ホストを削除する場合は、[Host IP Addresses] ペインからホストを選択し、[Remove] をクリックします。</p>

表 16-1 V3 の SNMP ユーザの設定値

フィールド	説明
Access Privileges	<p>ドロップダウンリスト ボックスから、アクセス レベルに関する次のオプションのいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>ReadOnly</b> : ユーザは、MIB オブジェクト値の読み取りのみが可能です。</li> <li>• <b>ReadWrite</b> : ユーザは、MIB オブジェクト値の読み取りと書き込みが可能です。</li> <li>• <b>ReadWriteNotify</b> : ユーザは、MIB オブジェクト値の読み取りと書き込みに加えて、MIB オブジェクト値のトラップおよび通知メッセージの送信が可能です。</li> <li>• <b>NotifyOnly</b> : ユーザは、MIB オブジェクト値のトラップおよび通知メッセージの送信のみが可能です。</li> <li>• <b>None</b> : ユーザは、読み取り、書き込み、トラップ情報送信のいずれも不可能です。</li> </ul> <p>トラップの設定パラメータを変更するには、<b>NotifyOnly</b> 特権または <b>ReadWriteNotify</b> 特権を持つユーザを設定する必要があります。</p>
Apply To All Nodes	<p>ユーザをクラスタ内のすべてのノードに適用する場合は、このチェックボックスをオンにします。</p>

## SNMP ユーザの削除

SNMP のユーザを削除するには、次の手順を実行します。

### 手順

- ステップ 1** P.16-2 の「SNMP ユーザの検索」の説明に従って、SNMP ユーザを特定します。
- ステップ 2** 一致レコードのリストから、削除するユーザの横にあるチェックボックスをオンにします。
- ステップ 3** **[Delete Selected]** をクリックします。
- ステップ 4** このユーザに関連する通知先エントリが削除されることを示すメッセージが表示されます。削除を続行する場合は、**[OK]** をクリックします。
- ステップ 5** SNMP マスター エージェントを再起動するまで変更が有効にならないことを示すメッセージが表示されます。SNMP マスター エージェントを再起動せずに設定を続行するには、**[Cancel]** をクリックします。SNMP マスター エージェント サービスを再起動するには、**[OK]** をクリックします。



### ヒント

すべての SNMP 設定が終了するのを待ってから、SNMP マスター エージェント サービスを再起動することをお勧めします。サービスを再起動する方法については、P.2-1 の「サービスの管理」を参照してください。

ウィンドウが更新されると、削除したユーザは結果に表示されなくなります。

### 追加情報

P.16-10 の「関連項目」を参照してください。

## 通知先の検索



### ヒント

[Add New] ボタンは、[Find] ボタンをクリックするまで [SNMP Notification Destination Configuration] ウィンドウに表示されません。ユーザが存在しない場合、ユーザを追加するには、[Find] ボタンをクリックして、ウィンドウが更新されるのを待ちます。[Add New] ボタンが表示されます。

V3 の通知先を検索するには、次の手順を実行します。

### 手順

- ステップ 1** [Snm] > [V3] > [Notification Destination] の順に選択します。
- ステップ 2** [Find Notification where Destination IP] ドロップダウン リスト ボックスから、通知先の検索に使用する特定の検索条件 ([begin with] など) を選択します。
- ステップ 3** 検索対象とする通知先の IP アドレスまたはホスト名を入力します。
- ステップ 4** [Server] フィールドで、通知先をサポートするサーバのホスト名または IP アドレスを選択します。
- ステップ 5** [Find] をクリックします。  
  
[Find] ボタンをクリックすると、[Add New] ボタンが表示されます。検索結果が表示された後、[Apply to All Nodes] チェックボックスが表示されます。
- ステップ 6** 検索結果のオプションの 1 つから、クラスタ内のすべてのノードに設定を適用する場合は、オプション名の横にあるチェックボックスをオンにしてから、[Apply to All Nodes] チェックボックスをオンにします。
- ステップ 7** 検索結果のリストから、表示する通知先をクリックします。
- ステップ 8** 通知先の追加方法または更新方法については、[P.16-8 の「SNMP V3 の通知先の設定」](#)を参照してください。

### 追加情報

[P.16-10 の「関連項目」](#)を参照してください。

## SNMP V3 の通知先の設定

トラップ / 通知の受信者を設定するには、次の手順を実行します。

### 手順

**ステップ 1** P.16-7 の「通知先の検索」の手順を実行します。

**ステップ 2** 次のいずれかの操作を実行します。

- 新しい SNMP 通知先を追加する場合は、検索結果ウィンドウで **[Add New]** ボタンをクリックし、[ステップ 3](#) に進みます。
- 既存の SNMP 通知先を変更する場合は、検索結果ウィンドウで通知先を見つけ、編集する SNMP 通知先名をクリックしてから、[ステップ 3](#) に進みます。
- SNMP 通知先を削除する方法については、[P.16-10](#) の「SNMP V3 の通知先の削除」を参照してください。

**ステップ 3** [表 16-2](#) の説明に従って、設定値を入力します。



**ヒント** いつでも **[Clear]** ボタンをクリックして、設定値に入力したすべての情報を削除できます。

**ステップ 4** **[Insert]** をクリックして通知先を保存するか、**[Save]** をクリックして既存の通知先への変更を保存します。

**ステップ 5** SNMP マスター エージェントを再起動するまで変更が有効にならないことを示すメッセージが表示されます。SNMP マスター エージェントを再起動せずに設定を続行するには、**[Cancel]** をクリックします。SNMP マスター エージェント サービスを再起動するには、**[OK]** をクリックします。



**ヒント** SNMP 設定が終了するのを待ってから、SNMP マスター エージェント サービスを再起動することをお勧めします。サービスを再起動する方法については、[P.2-1](#) の「サービスの管理」を参照してください。

### 追加情報


[P.16-10](#) の「関連項目」を参照してください。



## SNMP V3 の通知先の設定値

表 16-2 に、V3 の通知先の設定値を示します。関連する手順については、P.16-10 の「関連項目」を参照してください。

表 16-2 V3 の通知先の設定値

フィールド	説明
Server	<p>P.16-7 の「通知先の検索」の手順を実行したときにサーバを指定したので、この設定値は、読み取り専用として表示されます。</p> <p>通知先のサーバを変更する場合は、P.16-7 の「通知先の検索」の手順を実行します。</p>
Host IP Addresses	<p>ドロップダウンリスト ボックスからホスト IP アドレスを選択するか、[Add New] を選択します。[Add New] を選択した場合は、ホストの IP アドレスを入力します。</p>
Port Number	<p>このフィールドに、通知先サーバが通知を受信するポート番号を入力します。</p>
Notification Type	<p>ドロップダウンリスト ボックスから、[Inform] または [Trap] を選択します。</p> <p> <b>ヒント</b> Inform オプションを選択することをお勧めします。Inform 機能では、確認応答されるまでメッセージが再送信されます。したがって、Inform は Trap よりも信頼性が高くなります。</p>
Remote SNMP Engine Id	<p>[Notification Type] ドロップダウン リスト ボックスで [Inform] を選択した場合は、この設定値が表示されます。</p> <p>ドロップダウン リスト ボックスからエンジン ID を選択するか、[Add New] を選択します。[Add New] を選択した場合は、[Remote SNMP Engine Id] フィールドにエンジン ID を 16 進数で入力します。</p>
Security Level	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、適切なセキュリティ レベルを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>noAuthNoPriv</b> : 認証もプライバシーも設定されません。</li> <li>• <b>authNoPriv</b> : 認証は設定されますが、プライバシーは設定されません。</li> <li>• <b>authPriv</b> : 認証とプライバシーが設定されます。</li> </ul>
User Information pane	<p>このペインから次のいずれかの操作を実行して、通知先をユーザに関連付けたり、関連付けを解除したりします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 新しいユーザを作成する場合は、[Create New User] ボタンをクリックし、P.16-3 の「SNMP ユーザの設定」を参照してください。</li> <li>• 既存のユーザを変更する場合は、そのユーザのオプション ボタンをクリックし、[Update Selected User] をクリックします。P.16-3 の「SNMP ユーザの設定」を参照してください。</li> <li>• ユーザを削除する場合は、そのユーザのオプション ボタンをクリックし、[Delete Select User] をクリックします。</li> </ul> <p>表示されるユーザは、通知先に設定したセキュリティ レベルによって異なります。</p>
Apply To All Nodes	<p>通知先の設定をクラスタ内のすべてのノードに適用する場合は、このチェックボックスをオンにします。</p>

## SNMP V3 の通知先の削除

通知先を削除するには、次の手順を実行します。

### 手順

- ステップ 1 P.16-7 の「通知先の検索」の説明に従って、SNMP 通知先を見つけます。
- ステップ 2 一致レコードのリストから、削除する通知先の横にあるチェックボックスをオンにします。
- ステップ 3 [Delete Selected] をクリックします。
- ステップ 4 通知先を削除するかどうかを尋ねるメッセージが表示されます。削除を続行する場合は、[OK] をクリックします。
- ステップ 5 SNMP マスター エージェントを再起動するまで変更が有効にならないことを示すメッセージが表示されます。SNMP マスター エージェントを再起動せずに設定を続行するには、[Cancel] をクリックします。SNMP マスター エージェント サービスを再起動するには、[OK] をクリックします。



### ヒント

すべての SNMP 設定が終了するのを待ってから、SNMP マスター エージェント サービスを再起動することをお勧めします。サービスを再起動する方法については、P.2-3 の「Control Center におけるサービスの開始、停止、再起動、および状況更新」を参照してください。

ウィンドウが更新されると、削除した通知先は検索結果ウィンドウに表示されなくなります。

### 追加情報

P.16-10 の「関連項目」を参照してください。

## 関連項目

- SNMP V1/V2c の設定 (P.15-1)
- SNMP ユーザの設定 (P.16-3)
- MIB2 システム グループの設定 (P.17-1)
- SNMP V3 の通知先の設定 (P.16-8)